

## はじめに

本県では、健康寿命（日常的に介護を必要とせず、健康で自立した生活ができる期間）を、平成34（2022）年度までに男女とも日本一にすることを目指しています。この目標を達成するため、平成25年度に保健・医療・福祉・介護などの関連計画に横串を刺す形の計画として「なら健康長寿基本計画」を策定し、エビデンスに基づく効果的な施策を推進してまいりました。

その結果、平均余命及び健康寿命は男女とも毎年延伸している一方で、平均要介護期間も伸びているなどの課題も浮き彫りになってきました。国民生活基礎調査によると、介護が必要になった主な要因は、認知症、脳血管疾患、高齢による衰弱等となっています。これらのことから、介護予防に関する施策の充実に加え、若い世代から生活習慣病を予防する取組を県民の皆様一人ひとりに心がけていただくことが重要であると考えています。

このたび計画期間の中間年度であることから、健康寿命の延伸に寄与する施策をより強力に推進するため、重点健康指標の見直しを行いました。関連計画である9つの計画ごとに、健康寿命の延伸に最も寄与する指標をKGI（重要目標達成指標）として、KGIを達成するための過程を評価する指標をKPI（重要業績評価指標）として設定し、これらを、本計画の重点健康指標として位置づけました。関連計画の推進にあたっては、それぞれの計画との整合・調和を図りながら進めることとしており、関係部局が一体となって健康寿命日本一の達成に向けた施策を推進してまいります。

今後も、本計画の進捗状況を毎年評価し、着実な推進を図るとともに、健康寿命に関連する市町村ごとの重点健康指標の分析とその結果を「見える化」しつつ、市町村と協働して取り組む「健康分野における奈良モデル」として推進してまいります。県民の皆様をはじめ、市町村、健康づくりに取り組む関係者の皆様には、本計画の推進に一層のご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

平成30年3月

奈良県知事 荒井 正吾